

令和7年9月第3回定例会

令和6年度決算 1億5,889万円の黒字

今議会に村から提案された〔承認1件、予算案8件、認定案10件、条例案1件、事件案4件、人事案3件〕は、すべて可決・認定・同意しました。また、陳情1件も審査しました。賛否の分かれた議案は34ページに掲載しています。

認定案の令和6年度決算については、全議員による「予算決算常任委員会」において審議しました。決算の概要は、広報4、5ページをご覧ください。

なお、決算に対し、勝山卓代表監査委員から次のとおり意見報告がありました。

8月29日の本会議「監査報告」から抜粋して掲載します。

監査意見【総括として】（抜粋）



勝山代表監査委員

① 本年度の村税の不納欠損額は、現年度分と過年度分合わせて1,179万3千円となっている。その要因を再度検証し、今後も公平性・平等性の観点と財源確保のため、引き続き回収に努力されたい。

なお、不納欠損処理は最終手段であり、不納欠損処理につながらないように、滞納が発生した際は初期の段階で早期回収に努められたい。

② 各所管で実施している補助事業について、補助金交付要綱等を定めずに補助金交付事務が行われていた事例が認められた。規定が定められていないものは整備し、適正に事務処理をされたい。

③ 木島平ジャンプ競技場について、トレーニングや大会の開催等の利用がほとんどなく、選手育成の施設としての目的が達成できていない状況の中、施設の老朽化も進み更に維持管理費が多額になることが懸念される。今後の施設のあり方について早急に検討されたい。

④ 村有財産賃貸借契約や村の受託事業契約で契約期間が既に終了しており、契約の更新手続きがされていないものが認められた。ほかにも同様の案件がないか改めて確認し、適正に事務処理をされたい。

⑤ 事務処理の適正化対策については、内部けん制機能を活かすことが重要である。各業務の事務処理が適正に行われているか複数職員によるチェックを確実にし、情報を共有するなど、内部けん制の強化により事務処理ミスの防止に努められたい。

監査意見【財政の構造として】

村債については、令和6年度の発行額が2億410万9千円、元利償還金残高は定期償還に加え繰上償還等を実施し、前年度末の89.3%となる27億3,998万1千円となった。基金については4億4,107万3千円の取崩しを行ったが、基金積立も実施し、基金残高は前年度末より4,089万3千円増の101.4%で、29億5,083万6千円となり、基金残高が村債残高より上回った。

実質公債費比率が11.0%で前年度対比2.2ポイント改善された。実質公債費比率は令和3年度をピークに減少に転じ、今後も緩やかに下降していくものと予想されている。しかしながら、財政状態は依然として厳しい状況が見込まれることから、今後も総合的な判断のもと、実質公債費比率が18%を超えることがないように計画的に対応されたい。また、地方公共団体財政健全化法（※左ページ下段）によるその他3指標についても、引き続き数値に注視し、健全な財政状態の維持を図られたい。

議
会

No.275



自然劇場

議会に対するご意見
をお聞かせください。

電話

☎0269(82)3111
(内線170)

E-mail

gikai@vill.kijimadaira.lg.jp

発行：木島平村議会
編集：議会だより編集委員会

補正予算

減額修正可決



令和7年度一般会計補正予算（第5号）1億4,668万円増額（総額 43億9,846万円）について、予算決算常任委員会から馬曲温泉への運営補助金1,000万円のうち500万円を減額する修正案を提示し、賛成多数で可決しました。減額修正の理由は「老朽化等により施設の多くが使用できない状況にあり、露天風呂のみの運営では、冬季及び次年度の経営改善の見通しが十分見込めない。過度な支出は住民の理解が得られないと考え、当面は冬前までの概ね3か月が妥当と判断したため」です。補正予算の主な内容は、以下に抜粋してお知らせします。（千円以下を四捨五入）

総務課

- ・借入金の繰上償還金等 6,634万円
- ・地域活性化起業人(副業型) ※委託契約に係る経費 150万円
（目的：早稲田大学等、連携大学との交流推進）
- ・Jアラート(災害対策)機器更新 454万円(地方債活用)
- ・定額減税追加分(令和6年所得の確定に伴う不足額給付)
1,354万円(国費)

※地域活性化起業人（副業型）

これまでの起業人は「企業派遣型」で、所属企業と村との契約。受入先で、月の半分以上勤務が要件。

新たな起業人（副業型）は、企業に所属する社員（個人）と契約。月1日以上村に滞在し、勤務は月4日以上が要件。

民生課

- ・障がい者自立支援(補装具更新ほか) 320万円（国・県費含む）
- ・住民票等のコンビニ交付システム環境変更委託料 108万円

産業課

- ・農業後継者への育成奨励金(1人分増額) 100万円
- ・有害鳥獣対策(捕獲活動費見直しに伴う増額) 109万円(県費含む)
- ・堆肥センター修繕費 260万円
- ・商工費補助金(申請件数の増加に伴う) 100万円
- ・学生合宿補助(申請件数の増加に伴う) 130万円
- ・馬曲温泉の運営補助金 500万円
- ・旧にこにこファーム施設解体工事 追加分 583万円

産業企画室

- ・道の駅ファームス木島平 調査委託費等 294万円
（アスベスト調査、再配置する場合の比較資料作成のための調査ほか）
- ・アンテナショップ新鮮屋(エアコン更新・家賃値上げほか) 129万円
- ・空き家活用・除却補助金(申請件数増加に伴う) 200万円

建設課

- ・越渡橋修繕費(増工に伴う) 385万円
- ・下水道事業への繰出金(電気代高騰に伴う) 443万円
- ・道路修繕費(修繕箇所増加に伴う) 337万円

※地方公共団体財政健全化法による「4指標」とは…

地方自治体の財政破綻^{はたん}を早い段階で防止することを目的とした法律に基づく財政状況を示す指標です。公表される財政指標は下記の①～④で、（ ）内は令和6年度決算の状況です。

なお、4指標とも、数値が大きいほど財政状況は悪いとされます。

①実質赤字比率（生じていません）

普通会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率。

③実質公債費比率（11.0%）

村の普通会計が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率。この比率が18%を超えると、新たな借金をするときに国や県の許可が必要。

②連結実質赤字比率（生じていません）

一般会計、特別会計、公営企業会計を含めた全ての会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率。

財政の「全体像」をとらえるのがこの指標の目的。

④将来負担比率（生じていません）

土地開発公社や村が損失補償をする出資法人なども含め、一般会計が将来負担すべき負債の標準財政規模に対する比率。

事件

●賃貸集合住宅建設工事を決定

令和7年度 木島平村賃貸集合住宅建設工事をサンタキザワ・湯本特定建設工事共同企業体と5,940万円で締結しました。

<集合住宅の概要>

- ・住所：木島平村大字穂高3115番地5、6（ヒルズタウン御殿）
- ・構造：木造2階建て（1棟4戸）
- ・延床面積：52.25坪 1階25.7坪（85.31㎡） Aタイプ35.59㎡ 2戸
2階26.5坪（87.79㎡） Bタイプ48.95㎡ 2戸
- ・設備：バストイレ別、多機能オートバス、浴室乾燥機、温水洗浄便座、エアコン2か所、洗面化粧台、ガス給湯、TV付インターフォン

人事

●固定資産評価審査委員会委員の選任

氏名：小林広明さん（南鴨） 任期：令和7年10月3日から3年間

●教育委員会委員の任命

氏名：芳川文子さん（馬曲） 任期：令和7年10月1日から4年間（再任）

●教育長の任命

氏名：関孝志さん（西町） 任期：令和7年10月1日から3年間（再任）

《賛否の分かれた議案の結果》

議案	議員名								採決結果
	関達夫	湯本直木	湯本行浩	山本隆樹	山浦登	丸山邦久	江田宏子	山崎栄喜	
令和7年度一般会計補正予算（第5号）修正案	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
令和6年度木島平村一般会計決算について	○	○	○	○	×	×	○	○	認定

■表の説明：○賛成、×反対（議長は議決に参加しないため、議員名から外しています）

不認定 討論

令和6年度一般会計決算に対する討論（要旨抜粋）

山浦 登 議員

令和5年度の実質公債費比率は13.2%（県平均は6.3%）で、県下の自治体で2番目に良くない数値。事業支出を後年度に回し、地方自治体の単年度主義を軽視し、過度に地方債等借入に依存する姿勢の表れと考える。

ファームス木島平は、検討委員会を立ち上げ、サウンディング調査で検討されたが、十分村民の意見や要望を組み込むことができないまま再整備計画として立案し、3月に説明会やパブリックコメントを村民に求めたが、結果として計画の見直しが余儀なくされた。

補助金交付要綱等を定めず交付された事案があること、村有財産賃貸契約や村の受託事業契約ですでに終了し契約の更新手続きがされていない事案があることについて監査委員から指摘があり、条例等に基づく厳正な事務執行、コンプライアンスの厳守の姿勢に欠けていたと考える。

「令和7年9月定例会の審査意見」

委員会に付託された議案について審査し、次の意見をまとめました。
村の対応は、12月議会定例会の初日に報告されます。

【予算決算常任委員会】

【令和7年度補正予算に対して】

地域活性化起業人(副業型)の新規採用にあたり、早稲田大学の学生提案の活用や他大学との連携を通じ、関係人口・交流人口の増加につながるよう、より一層、取組みの充実を図りたい。

当初予算の計上漏れによる補正が複数見られた。より慎重に業務を行い、ケアレスミスの防止に努められたい。

【令和6年度決算に対して】

全課

各事業の経費が増えている現状がある。各課において課題を先送りせず、真摯に向き合い、職員の知恵や工夫による事業の見直しや改善により、経費の抑制に努められたい。

「地域おこし協力隊」は、地域活性化とともに、移住定住促進を目的とした制度である。効果的に導入している自治体に学び、農業や教育分野など、各課において地域活性化に資する人材の採用に向け、積極的な導入を検討されたい。

総務課

「調布市派遣職員」の事業において、姉妹都市交流のより一層の拡大・推進を図られたい。併せて、アンテナショップとしての「新鮮屋」のあり方について、早急に検討を進められたい。

産業課

「堆肥センター」については、現施設を長期に維持するほど多額の経費負担を要することから、早急に方針を示し、次の手段に移行できるよう努められたい。

生涯学習課

ジャンプ台については、安全面の観点からも廃止も視野に検討されたい。

「森の再生事業」については、村内外に広く周知・PRを行い、賛同者を増やすことで、誘客や関係人口の拡大につながるよう取り組まれたい。

建設課

河川内に繁茂した草木の伐採・撤去は、景観や治水機能の維持に加え、熊の被害防止にも資する重要な取組みである。県に対し、積極的に対応を要望されたい。

「市民農園」については、管理状況や事業効果を精査し、今後のあり方を検討されたい。

「地域公共交通のあり方」の検討は喫緊の課題である。公共ライドシェアの導入や広域連携の可能性も含め、財政負担の軽減に向けた多様な手法について、研究・検討を進められたい。

「観光交流センター」については、会議室の利用緩和など、施設の活用促進に向けたあり方を検討されたい。

「カヤの平」の施設運営については、利用者が増えるような対策を講じられたい。

みなさんからの請願・陳情

受理番号	件名	審査結果	対応
陳情第6号	免税軽油制度の継続を求める陳情	採択	衆・参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、財務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、観光庁長官あてに意見書を提出。

議員からの発議

受理番号	件名	結果	対応
陳情第4号	柏崎刈羽原発再稼働見直しと隣接する長野県民の意思の確認を求める意見書の提出について	可決	原子力規制庁長官、東京電力代表執行役社長、長野県知事、長野県議会議長あてに意見書を提出。

6月定例会以降の議会活動

議会では、定例会以外に、研修や村議会独自の議会活動などを行っています。
6月定例会から9月定例会までの議会活動についてピックアップして掲載します。

地域おこし協力隊 松森正彦さんとの懇談（6月）

今年6月1日付けで、観光振興局の事務局長候補として地域おこし協力隊に着任した松森さんと、議員一人ひとりが懇談しました。

松森さんから、①議員の多様性があり、議会運営を考えた時、多彩な観点が活かされている。②多様な視点の中でも「観光」と「農業」が村の柱であり、持続可能な村の取組みに期待する考えは一致している。③議員と村（行政）の関係として、それぞれの役割がある。木島平村くらいの規模であれば、役割を超えて協力し合うスタンスも重要と考える。私自身も役割の枠を決めずに、様々な方々と協働して業務を進めていきたい。との感想をいただきました。

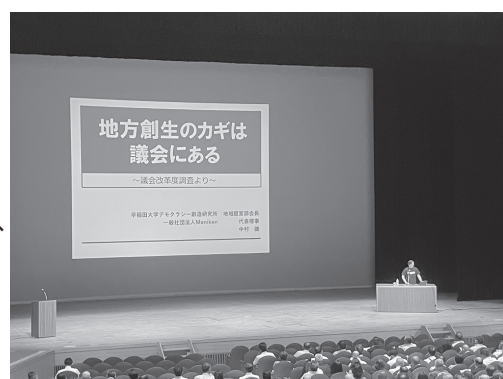
松森さんには、各議員の視点、村の課題等をふまえ、木島平村観光振興局を中心に、ローカルベンチャー（持続可能な地域経済の構築等）を生み出していただくことを期待します。

なお、松森さんは、9月1日に観光振興局の事務局長に就任しました。

町村議会議長会議員研修（7月14日）松本市

今回のテーマは、早稲田大学デモクラシー研究所代表 中村健氏による「地方創生の鍵は議会にある～議会改革度調査より～」と、日本科学技術ジャーナリスト会議会長 室山哲也氏による「生成AIの衝撃。人工知能時代をどう生き抜くか」でした。

地域活性化に果たす議会の役割や県下の議会が抱えている課題や問題を多くの事例に基づき解説、提案されました。また、今やあらゆる場面で活用されている生成AI人工知能の機能と日常生活の中で果たす役割と課題についてわかり易く解説されました。これからの時代、議会活動や日常生活をどのように進めるのか、今までとは異なる視点で考える必要を感じた研修会でした。



町村議会議員研修会場の様子

最新の法改正にみる自治体の課題と対応セミナー（8月5日）オンライン

最新の法改正に関するセミナーに参加し、議員として注視すべきポイントについて学びました。

講師は自治体での実務経験を持つ法律の専門家で、制度改正の背景やその目的、自治体運営や議会活動への具体的な影響について、解説してくださいました。特に、地方分権の進展やカスタマーハラスメント対策、災害対応体制の強化、選挙制度の見直しなど、自治体が直面する重要課題が取り上げられ、議員としての責務や対応の在り方を見直す貴重な機会となりました。今後の政策立案や住民対応に、今回得た知見をしっかりと活かしてまいります。

産業建設常任委員会視察 ～北信地域の農業資産巡り～ (9月10日～11日)

今年は水不足だったため、北信地域の下表6か所の「農業資産」を巡ってきました。

農業資産とは、おいしい農産物を育むために欠かせない農業用水を運ぶ「水路」や農業用水・雨水をためておく「ため池」、地形を巧みに利用した階段状に作られた「棚田」などの農地や農業用施設のこと、身近なところに存在しています。

ため池の水不足を感じましたが、下流の稲は順調に成熟しており、用水路など灌漑設備かんがいの改良、管理が進められてきた地域力を改めて感じました。

①天池 <small>あまいけ</small> (栄村) 農業用ため池	②北竜湖 (飯山市) 農業用ため池	③野沢沖の棚田 (野沢温泉村) 圃場整備による棚田
④上堰 <small>うわせぎ</small> の円筒分水 (ケヤキの森公園上部) 41.25 対 58.75 の正確な割合分水	⑤坪根堰 <small>つぼねせぎ</small> (山ノ内町) 農業用水路	⑥浜津ヶ池 (中野市) 農業用ため池



議会カフェ 開催します♪

「議会って何をやっているの?」「議員ってどんな人?」「村のことを話したい」など、気軽に議員と話してみませんか。

議会改革の一環として、議会、議員を知っていただく機会として計画しました。小さなお子さん連れでも、お茶を飲みに来るだけでも、どなたでも大歓迎です。ご都合の良い時間に、お気軽にお越しください。

- 開催日 11月9日 (日)
- 開催時間 午前10時00分～午後5時00分 (担当議員は下表のとおり)
- 開催場所 若者センター研修室



開催時間	担当議員名		
午前10時～正午	関 達夫	山本 隆樹	江田 宏子
午後1時～午後3時	湯本 直木	山浦 登	山崎 栄喜
午後3時～午後5時	湯本 行浩	丸山 邦久	勝山 正



※担当議員は、変更となる場合があります。

◆◆◆「木島平村議会のしおり」を作成しました◆◆◆

議会改革特別委員会の取組みの一つとして、議会のことを知っていただくための「しおり」を作成しました。議会と聞くと、「何をしているかわからない」「難しい」というイメージをお持ちの方も多いのではないのでしょうか。

議会は、村民の代表である議員が、村がより良くなるように公正公平な立場で、村の将来や村民の身近な生活に関わることなどを話し合い、村の意思を決定する重要なところですよ。

「木島平村議会のしおり」をご覧ください、少しでも議会のことを知っていただけたら幸いです。



▲木島平村議会のしおり
村公式ウェブサイトに掲載しています。

議会全員協議会

【村からの提出案件】

6月13日

- 協議事項 ・ 持続可能なまちづくりに向けた可能性調査等の実施について

6月30日

- 協議事項 ・ 馬曲温泉の状況について

7月17日

- 協議事項 ・ 馬曲温泉の状況について

7月23日

- 協議事項 ・ 馬曲温泉の状況について

7月31日

- 協議事項 ・ 馬曲温泉の状況について
- 報告事項 ・ 少雨による湧水対策について

8月21日

- 協議事項 ・ 馬曲温泉の状況について
- 報告事項 ・ 任期満了に伴う人事案件について
- ・ 損害賠償の額を定める専決処分の報告について

8月29日

- 協議事項 ・ 馬曲温泉の状況について

【議員間での協議事項】

6月30日

- 協議事項 ・ 調布市・木島平村姉妹都市議員交流について
- ・ 県特別豪雪地帯指定市町村議会協議会提出議題について

7月31日

- 協議事項 ・ 公的団体の経営状況について（農業振興公社、観光振興局、社会福祉協議会）

8月8日

- 協議事項 ・ 馬曲温泉の状況について

8月21日

- 協議事項 ・ 北信建設事務所との意見交換会について

9月29日

- 協議事項 ・ 議会カフェについて

各議員の一般質問の項目

9月3日・4日に7人が一般質問を行いました。質問・答弁の要旨は来月（11月号）の議会だよりに掲載します。

第1日目（9月3日）

1 山崎 栄喜

- ①人口減少時代に対応した村づくりを
- ②馬曲温泉等に対する補助金(交付金)について

2 関 達夫

- ①区の支援策を厚くしてほしい
- ②やまびこの丘ジュニアサッカー場にぎわいを
- ③観光振興で元気を取り戻せるか
- ④ファームス木島平再整備について

3 丸山 邦久

- ①そばの振興策について
- ②湧水対策について

4 山本 隆樹

- ①今後の「空き家対策」の推進は



第2日目（9月4日）

1 湯本 直木

- ①(一社)木島平村観光振興局について
- ②(一財)木島平村農業振興公社について
- ③社会福祉法人木島平村社会福祉協議会について
- ④6月議会一般質問の答弁について、その後の対応は

2 湯本 行浩

- ①若者流出と働く場の不足を踏まえた施策について
- ②観光から村民の福利厚生へ

3 山浦 登 ※当日、体調不良により欠席

- ①村道30号線(スキー場線)の安全対策について
- ②小学生通学路の安全確保について
- ③令和6年度一般会計特別会計決算について
- ④地球温暖化防止と異常気象対策について

4 江田 宏子

- ①「ファームス木島平再整備計画」のその後の状況について ※前日に同様の質問があったため、取り下げ
- ②「馬曲温泉」の施設の状況と対応について
- ③「堆肥センター」のあり方について
- ④「地域公共交通」の検討状況について

次回定例会の開催予定

【12月議会定例会】※現時点での予定です。

- 開会日 11月28日(金)
- 一般質問① 12月4日(木)
- 一般質問② 12月5日(金)
- 閉会日 12月12日(金)

請願・陳情の受付締切日

11月12日(水) 午後5時
議会事務局へ直接お持ちいただき、事務局員に説明をお願いします。



定例会・臨時会の会議録は、どなたでもご覧いただけます

会議録は、定例会・臨時会の本会議記録を載せています。
次の場所・方法で閲覧できます。
・役場2階の議会事務局での閲覧(平日午前8:30~午後5:15)
・村公式ウェブサイトに掲載

木島平村で検索して、次のように進んでください。

公式ウェブサイト(トップページ下段)の **木島平村議会** → **会議録**

※9月定例会会議録は、現在作成中のため次回定例会までに掲載予定です。



スマートフォン・タブレットからは、QRコードの読み取りでご覧いただけます。

議会を傍聴しませんか

本会議は、どなたでも傍聴できます。
傍聴席は、役場2階 議場後方が入口です。
また、本会議は、ふう太ネットで生放送および再放送をしています。
開会日と閉会日の再放送は、当日の午後7時からです。
一般質問の再放送は、ふう太ネット番組表または音声放送等でご確認ください。



議会だより編集委員

- 委員長 江田宏子
- 副委員長 山本隆樹
- 委員 山浦 登
- 関 達夫
- 湯本直木
- 湯本行浩

ちょっと
いっぷく

議員の ひょうぎ

70歳(古希)になった。想像していた古希の姿より、心も体も若いと感じている。

生まれ育った本村の気候風土が、心身に合っていることはもちろんだが、令和3年5月から始めた山城のぼりの影響も大きい。毎月一回決行し、善光寺平を中心に約50城を制覇した。

武田氏の山城研究家の馬場廣幸先生と知己を得たことによるが、本村のK氏・Y氏の4人で登っている。

今年の7月と8月は、あまりの猛暑だったので、山城はやめて、小菅の奥社と須坂の米子大瀑布に行った。これには妻も連れて行った。

妻とは今年の4月、松江城、鳥取県の米子城、兵庫県の(天空の城)竹田城、姫路城、彦根城、犬山城に行った。

10月には山梨県の大菩薩嶺(2057m)の登頂を目指している。

二人で山や山城に行きながら筋力をつけ、健やかに暮らしたいと願っている。

くにびん